

施策名	目標5-5 自然とのふれあいの推進						
施策の概要	豊かな自然とのふれあいや休養などの国民のニーズに応えるため、持続可能な自然資源の保全を図りつつ、安全で快適な自然とのふれあいの場の提供やふれあい活動をサポートする人材の育成を行う。						
達成すべき目標	安全で快適な自然とのふれあいの場を提供しつつ、ふれあい活動をサポートする人材を育成することでエコツーリズムを推進し、自然とのふれあいの質の向上を図る。また、貴重な自然資源である温泉の保護と適正な利用を図る。						
施策の予算額・執行額等	区分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求額	
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	11,580	11,214	10,934	10,243	8,977
		補正予算(b)	1,498	4,095	0	0	
		繰り越し等(c)	△ 1,952	△ 2,243	2,427	3,799	
		合計(a+b+c)	11,126	13,066	13,361	14,042	8,977
執行額(百万円)	9,363	11,947	12,428				
施策に関係する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	施政方針演説等の名称	年月日		関係部分(抜粋)			

測定指標	1 自然とのふれあい場である自然公園等の利用者の推移(千人)	基準値	実績値					目標値
		年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
		-	905,668	916,845	894,798	897,846	集計中	-
	年ごとの目標値		-	-	-	-	-	
	2 エコツーリズム推進法の規定に基づく全体構想認定数	基準値	実績値					目標値
		20年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
		0	-	-	-	1	1	3
	年度ごとの目標値							
	3 温泉利用の宿泊施設利用人数の推移(千人)	基準値	実績値					目標値
		年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	年度
-		137,089	135,873	132,677	127,930	集計中	-	
年度ごとの目標値		-	-	-	-	-		

施策に関する評価結果	目標の達成状況(毎年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然とのふれあいを推進する人材の育成等によるエコツーリズムの推進や全国29の国立公園等において、安全で快適な公園利用等を促すために公園利用施設の新設や老朽化施設等の更新、自然生態系等の回復など自然とふれあう場の提供を実施。また、自然資源である温泉の保護と適正な利用を図った。</li> </ul>
	目標期間終了時点の総括	<p>【これまでの成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然とのふれあいに関する情報の提供や人材の育成、エコツーリズムの総合的な推進(地域への技術的助言・情報収集・広報活動等)により、自然の保全と適正利用の推進を図った。また、全国29の国立公園等において、安全で快適な公園利用施設の新設・更新、自然生態系等の回復などの事業を実施するとともに、都道府県等が行う国定公園等の公園利用施設の整備に対して支援を行い、自然とのふれあいの場の提供を推進した。このほか、自然資源である温泉の保護と適正な利用を図った。</li> </ul> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な利用が図れる「自然と共生する社会」の実現に資するよう、今後も国民のニーズに的確に応え、自然への理解や大切にする気持ちを育成することを目的とした自然ふれあいメニューの拡充やエコツーリズムの推進を図るとともに、安全で快適な国立・国定公園等における公園施設の整備や温泉の適正利用を図っていく。</li> </ul>

学識経験を有する者の知見の活用	-
-----------------	---

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	—
---------------------------	---

担当部局名	自然ふれあい推進室 自然環境整備担当参事官室	作成責任者名	堀上 勝 大庭 一夫	政策評価実施時期	平成23年 6月
-------	---------------------------	--------	---------------	----------	-------------